
5章

調査票

この英数字はインターネットを通じて回答いただく場合に必要となります。
宛名の方の個人情報と紐づけたものではありません。

オンライン回答用 ID

奈良県ジェンダーギャップのない社会づくり に関する意識調査のご協力をお願い

秋涼の候、県民の皆さまにおかれましてはご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

県では、家庭、地域、社会生活におけるジェンダーギャップ（※）に関する意識等を把握し、性別に関わらず一人の人間として個性が尊重され、誰もが生き生きと活躍するための施策を検討する基礎資料を得ることを目的に本調査を実施いたします。

この調査は、県内にお住まいの満20歳以上の方の中から無作為抽出により実施しておりますが、このたび、あなた様を調査対象者として選ばせていただきました。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本県の今後の施策を考えるうえで大変重要な調査となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた内容につきましては、上記目的以外に使用することは一切なく、内容が他にもれることは絶対にありません。

どうぞ、安心してありのままをお答えいただきますよう、重ねてお願いいたします。

※ジェンダーとは、身体的・生物学的な性別とは区別された、社会的・文化的につくられた男女のありかたのこと。ジェンダーギャップとは、男女の違いにより生じる格差のことを言います。県では、性別によって「こうあるべき」という意識をなくし、一人ひとりの個性が尊重される社会を目指します。

令和6年9月
奈良県知事 山下 真

[ご回答にあたってのお願い]

1. この調査は、次ページから始まる調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォン等でインターネットを通じて回答いただくことが可能です。（インターネット回答を希望される方は、同封の「オンライン回答のご案内」をご確認ください）
2. ご回答にあたっては、封筒の宛名のご本人がご記入ください。
3. 設問によっては、○を付ける数が異なりますので、注意書きに従ってお答えください。
4. ご記入いただいた本調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和6年10月8日（火）**までに、切手を貼らずにご投函ください。封筒、調査票ともに住所や氏名は記入しないでください。

ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお問合せください。

奈良県 地域創造部 こども・女性局 こども・女性課
TEL. 0742-27-8679

問1 就業状況について

《令和6年9月1日現在でお答えください》

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。

配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲であなたの配偶者・パートナーについてもお聞かせください。(それぞれ○はひとつずつ)

あなたについて

① 現在のあなたの就業状況

1. 正規職員
2. パート・アルバイト
3. 派遣・嘱託・契約社員
4. 自営業主・家族従事者(起業も含む)
5. 内職
6. 以前は働いていたが、今は働いていない
7. これまで働いた経験がない
8. その他()

次の②～⑤は働いている方のみお答えください。

② あなたの業種

1. 農業、林業、漁業
2. 建設業、不動産業
3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業
6. 運輸業、郵便業
7. 卸売業、小売業
8. 金融業、保険業
9. サービス業
10. 医療、福祉
11. 官公庁・地方自治体
12. 学校
13. その他

配偶者・パートナーについて (配偶者・パートナーがいらっしゃる場合のみ)

①-1 現在の配偶者・パートナーの就業状況

1. 正規職員
2. パート・アルバイト
3. 派遣・嘱託・契約社員
4. 自営業主・家族従事者(起業も含む)
5. 内職
6. 以前は働いていたが、今は働いていない
7. これまで働いた経験がない
8. その他()

次ページの③-1～⑤-1は配偶者・パートナーが働いている方のみお答えください。

⇒次ページへお進みください

あなたについて

③ あなたの年間の収入

1. 100万円未満
2. 100～200万円未満
3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満
5. 400～600万円未満
6. 600万円以上

④ 通勤時間（片道）

_____ 時間 _____ 分

⑤ 勤務地

1. 自宅
2. 居住市町村（自宅外）
3. 奈良県内（居住していない市町村）
4. 奈良県外

※在宅ワークと会社等での勤務を併用している場合は、割合の多い方で回答して下さい。

配偶者・パートナーについて （配偶者・パートナーがいらっしゃる場合のみ）

③-1 配偶者・パートナーの年間の収入

1. 100万円未満
2. 100～200万円未満
3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満
5. 400～600万円未満
6. 600万円以上

④-1 通勤時間（片道）

_____ 時間 _____ 分

⑤-1 勤務地

1. 自宅
2. 居住市町村（自宅外）
3. 奈良県内（居住していない市町村）
4. 奈良県外

※在宅ワークと会社等での勤務を併用している場合は、割合の多い方で回答して下さい。

問2 仕事に対する意識について

問2-1 現在のあなたの「就業状況、業種」にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1. 満足
2. まあ満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問2-2 あなたの仕事・働くことに対する考え方について、最も重視するものをお聞かせください。

（○は上位3つまで）

1. 専門性を磨くことができる
2. 人として成長することができる
3. 会社・社会の役に立つことができる
4. 給与の額
5. 自分のやりたいこと
6. 残業が少ないこと
7. 雇用の安定性
8. 新しいことに挑戦できる
9. 身体的・精神的に負荷が少ないこと
10. 突発的な時にも休みやすいこと
11. 自分の能力・経験を活かすことができる
12. その他（ _____ ）

問 2-3 問 1 ①で「1. 正規職員」、「2. パート・アルバイト」、「3. 派遣・嘱託・契約社員」と回答した方のみにお聞きします。

現在の「就業状況、業種」で働いている理由についてお聞かせください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 十分な収入を得たい | 8. 福利厚生や待遇が充実している |
| 2. 社会保険の扶養対象の範囲内とするため | 9. 雇用が安定している |
| 3. 自分で自由に使えるお金が欲しい | 10. その形でしか雇用されない |
| 4. 社会的な信用を得たい | 11. 健康・体調の都合 |
| 5. やりたいことを仕事にしたい | 12. その他 () |
| 6. 仕事で身体的・精神的に負荷がかからない | 13. 特に理由はない |
| 7. 家事・育児等との両立がしやすい | |

[すべての方にお聞きします]

問 2-4 昇進すること、または正規職員登用についてどのようなイメージをお持ちですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 自分がやりたい仕事ができる | 6. 上司・同僚等周りの意見を聞かざるを得なくなる |
| 2. 大きな仕事・重要な仕事ができる | 7. 仕事量が増し勤務時間の調整がしにくくなる |
| 3. 仕事の内容が変わることで充実感・満足度が上がる | 8. 過度な責任が伴うため、身体的・精神的に負担が増える |
| 4. 家族が昇進・正規職員登用を望んでいる | 9. 家事・育児等の時間が取れなくなる |
| 5. 役割・責任の割に給料が上がらない | 10. その他 () |

問 2-5 問 1 ①で「6. 以前は働いていたが、今は働いていない」、「7. これまで働いた経験がない」と回答した方のみにお聞きします。

今後就労を希望されていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. すぐにでも、もしくは1年以内 | 5. 10年以上先 |
| 2. 3年以内 | 6. 就労をしたいができない |
| 3. 3~5年以内 | 7. 就労を希望していない |
| 4. 5~10年以内 | → 問 2-7 へお進みください |

問 2-6 問 2-5 で「1. すぐにでも、もしくは1年以内 ~ 5. 10年以上先」と回答した方のみにお聞きします。

現在就労していない(できない)理由についてお聞かせください。(○は上位3つまで)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 就労先が倒産した・就労先から解雇されたため | 7. 高齢のため |
| 2. 出産・育児のため | 8. 学校以外で進学や資格取得などの勉強をしているため |
| 3. 介護・看護のため | 9. ボランティア活動に従事しているため |
| 4. 家事(出産・育児・介護・看護以外)のため | 10. 仕事をする自信がないため |
| 5. 通学のため | 11. その他 () |
| 6. 病気・けがのため | 12. 特に理由はない |

問 2-7 問 2-5 で「6. 就労をしたいができない」、「7. 就労を希望していない」と回答した方のみにお聞きします。

就労を希望しない理由についてお聞かせください。(○は上位3つまで)

1. 配偶者・パートナー・家族等の収入で生活ができる
2. 地域活動、PTA活動、ボランティアなどをやりたい
3. 家事・育児・介護などに専念したい
4. 家事・育児・介護などと両立する自信がない
5. 就職・再就職について配偶者・パートナー・家族の理解がない
6. 配偶者・パートナーが、長時間労働のため、家事・育児・介護などを分担できない
7. 配偶者・パートナーが、単身赴任などのため、家事・育児・介護などを分担できない
8. 配偶者・パートナーの意識や考え方から、家事・育児・介護などを分担できない
9. 自分の仕事をする能力等に自信がない
10. 職場の人間関係が不安
11. 高齢のため
12. 働きたくない
13. その他 ()

問3. 仕事と生活について

問 3-1 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

※「家庭生活」・・・家族と過ごすこと、家事(食事の支度・片付け、掃除、洗濯、買い物等)、子育て、介護・看護など

「地域・個人の生活」・・・地域活動(ボランティア活動、社会参加活動、交際・つきあいなど)・学習・研究(学業も含む)、趣味・娯楽、スポーツなど

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の全てを優先したい

問 3-2 あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（○は1つ）

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の全てを優先している

問 3-3 あなたの「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」にそれぞれどの程度満足していますか。

（それぞれ○はひとつずつ）

- ※「仕事」については、現在仕事をしていない場合は、その状況についてお聞かせ下さい。
 ※「家庭生活」については、一人で生活しておられる方は、その状況も含めてお考え下さい。
 ※「地域」には、地域での近所付き合いやスポーツ・趣味、社会貢献活動等を含めてお考え下さい。

		満足 している	ま あ 満足 している	い え ない ど ち ら ど も	不 満 で あ る や や	不 満 で あ る
① 仕事	→	1	2	3	4	5
② 家庭生活	→	1	2	3	4	5
③ 地域・個人の生活	→	1	2	3	4	5

問 3-4 配偶者・パートナーの生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、あなたご自身の希望に最も近いものはどれですか。（○は1つ）

※現在配偶者・パートナーがいない方も、配偶者・パートナーがいた場合を想定してお答えください

1. 「仕事」を優先してほしい
2. 「家庭生活」を優先してほしい
3. 「地域・個人の生活」を優先してほしい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先してほしい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先してほしい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先してほしい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の全てを優先してほしい

問 3-5 配偶者・パートナーがいる方のみにお聞きします。

配偶者・パートナーの現実にもっと近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の全てを優先している

[すべての方にお聞きします]

問 3-6 家庭や仕事に関するあなたの考えや気持ちについて次にあげる項目それぞれについてお聞かせください。(それぞれ○は1つずつ)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
家事・育児	① 自分が率先してすべきことである →	1	2	3	4
	② 外で収入を得ている場合はやらなくてもいい →	1	2	3	4
	③ 仕事を優先する場合はやらなくていい →	1	2	3	4
	④ 家事・育児等が得意な方がやった方がいい →	1	2	3	4
	⑤ 家事・育児等は分担・共同でやった方がいい →	1	2	3	4
	⑥ 時短家電や外部サービス等を利用して効率化すればいい →	1	2	3	4
	⑦ 自分の考え・やり方を相手に押し付けない方がいい →	1	2	3	4
	⑧ 私は家事・育児のストレスが大きい →	1	2	3	4
	⑨ 配偶者・パートナーは家事・育児ストレスが大きい →	1	2	3	4
仕事・家計	⑩ 私は仕事のストレスが大きい →	1	2	3	4
	⑪ 配偶者・パートナーは仕事のストレスが大きい →	1	2	3	4
	⑫ 私には家計を支える責任がある →	1	2	3	4
	⑬ 配偶者・パートナーには家計を支える責任がある →	1	2	3	4

問4 地域や家庭における「性的役割意識」等について

問 4-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------------|---|----------------|
| 1. 賛成 | } | 問 4-2 へお進みください |
| 2. どちらかといえば賛成 | | |
| 3. どちらかといえば反対 | } | 問 4-3 へお進みください |
| 4. 反対 | | |

問 4-2 問 4-1 で「1. 賛成」または「2. どちらかといえば賛成」と回答した方のみにお聞きします。賛成を選んだ理由についてお聞かせください。(〇はいくつでも)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、こどもの成長などにとって良いと思うから
5. 育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから
6. その他 ()

問 4-3 問 4-1 で「3. どちらかといえば反対」または「4. 反対」と回答した方のみにお聞きします。反対を選んだ理由についてお聞かせください。(〇はいくつでも)

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親もともに家事・仕事をしていたから
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
5. 夫婦で育児・介護・家事を行うことで妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
7. その他 ()

問5 性別による生きづらさについて

問 5-1 職場や学校、家庭などの場で「男だから」「女だから」という固定概念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じることはありますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|---|--------------------|
| 1. 強く感じる | 3. あまり感じない | } | 問 5-3 へお進み
ください |
| 2. すこし感じる | 4. 感じない | | |

問 5-4 様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。

(○はいくつでも)

1. 電話による相談ができる
2. メールによる相談ができる
3. チャット、SNSなどによる相談ができる
4. 24 時間相談ができる
5. 匿名で相談ができる
6. 通話料が無料
7. 相談内容に応じて無料で支援が受けられる (医療費、カウンセリング費用、弁護士費用など)
8. 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる
9. 同性の相談員がいる
10. 法的知識のある相談員がいる (弁護士など)
11. DV や性暴力に関する専門の相談員がいる
12. 心理専門職の相談員がいる (臨床心理士、公認心理師など)
13. その他 ()

問 6 結婚等に対する考え方について

※ここでいう結婚等とは、法律婚、事実婚、内縁の関係、パートナーシップ制度など、本人同士に共同生活の意思がある状態のことを指します。

問 6-1 あなたの婚姻状況 (結婚とは、婚姻の届出のない事実婚を含む) についてお聞かせください。

(○は1つ)

1. 未婚 (一度も結婚したことがない) ※婚約中の方を含む
2. 結婚している ⇒問 6-3 へお進みください
3. 結婚していた (配偶者と離婚・死別等) ⇒問 6-3 へお進みください

問 6-2 問 6-1 で「1. 未婚 (一度も結婚したことがない) ※婚約中の方を含む」と回答した方のみにお聞きします。

今後結婚に関する意向はありますか。(○は1つ)

1. いずれ結婚するつもり
2. 結婚するつもりはない
3. まだわからない

[すべての方にお聞きします]

問 6-3 現在、結婚等について不安やマイナスのイメージは持っていますか? (○は1つ)

- | | | |
|------------------|------------------------|--------------------|
| 1. 持っている | 3. 持っていない | } 問 7 へお進み
ください |
| 2. どちらかといえば持っている | 4. 分からない
(考えたことはない) | |

問 7-4 あなたの子どもについてお聞かせください。

① あなたの子どもの人数をお聞かせください。(別居を含む)

_____人

② 問 7-4①で子どもが1人以上と回答した方のみにお聞きします。

一番下の子どもの学齢をお聞かせください。(別居を含む)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 3歳未満 | 5. 高校生 |
| 2. 3歳以上就学前 | 6. 大学生、専門・専修学校生 |
| 3. 小学生 | 7. その他 |
| 4. 中学生 | |

問 7-5 あなたのお住いの市町村についてお聞かせください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 奈良市 | 11. 葛城市 | 21. 曾爾村 | 31. 下市町 |
| 2. 大和高田市 | 12. 宇陀市 | 22. 御杖村 | 32. 黒滝村 |
| 3. 大和郡山市 | 13. 山添村 | 23. 高取町 | 33. 天川村 |
| 4. 天理市 | 14. 平群町 | 24. 明日香村 | 34. 野迫川村 |
| 5. 橿原市 | 15. 三郷町 | 25. 上牧町 | 35. 十津川村 |
| 6. 桜井市 | 16. 斑鳩町 | 26. 王寺町 | 36. 下北山村 |
| 7. 五條市 | 17. 安堵町 | 27. 広陵町 | 37. 上北山村 |
| 8. 御所市 | 18. 川西町 | 28. 河合町 | 38. 川上村 |
| 9. 生駒市 | 19. 三宅町 | 29. 吉野町 | 39. 東吉野村 |
| 10. 香芝市 | 20. 田原本町 | 30. 大淀町 | |

ジェンダーギャップのない社会づくりに関してご意見等がありましたらお書きください

アンケートは以上です。最後までご記入いただきありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、令和6年10月8日(火)までに、同封の返信用封筒に入れて、無記名で切手を貼らずに、郵便ポストに投函してください。

※ すでにパソコン・スマートフォン・タブレット等を利用し、インターネット回答をされている方は、この調査票へのご記入や投函は不要です。

ジェンダーギャップのない社会づくりに関する意識調査

令和7年3月

編集・発行 奈良県地域創造部こども・女性局

こども・女性課

〒630-8501 奈良市登大路町 30

電話 0742-27-8679